

『主体性』と『自主性』の違いとは??

本校独自の教育ビジョン『SPARK for our well-being!』の『重点事項』の②として
『主体性（≠自主性）』と『当事者意識』の育成』とあげています。

★『主体性』とは?★

主体性

自分の意思で判断し、自ら考えて、責任をもって進んで行動する力

- 特徴・『なぜそれをするのか?』という『目的意識』がある!
- ・他人や状況に流されず、『自ら選択・行動』する!
 - ・周囲の影響を受けても、『自分の軸』で考える!

<例>・学校のルールを見直そうと、生徒会や委員会、友人たちと話し合って企画書や提案書を作る!



- ・地域の課題に気づき、先生に相談しながらプロジェクトを立ち上げる!

★『自主性』とは?★

- 特徴・『決められたこと』の範囲で『指示』がなくても『自発的』に動く!

- ・テスト勉強や課題などを『自分のペース』で進める!

<例>・宿題を誰に言われなくても計画的にやる!
・清掃時間に、先生がいなくても真面目に掃除をする!

自主性

決められたことに対して
進んで行動する力



★違いをひと言で言うと?★・・・『自主性<主体性』です!!

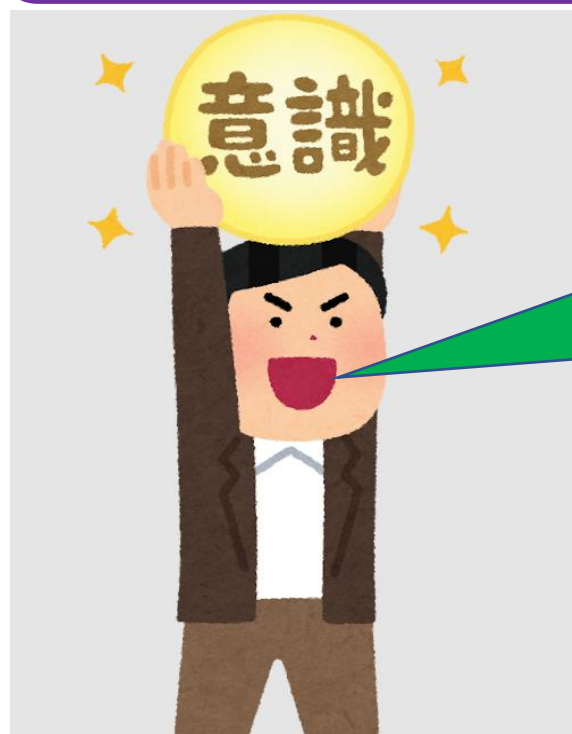
『自主性』は、「決まっているルール」や「望ましいとわかっている習慣」への『従順な自律』であり、『決められた範囲』のなかでの『限られた』チカラ。それに対し、『主体性』は、「答えのない課題」や「創造的行動」への『責任』ある『能動的な関与・チャレンジ』であり、『予測困難な変化の激しい時代』に必要とされるチカラである!

『当事者意識』とは、どんなチカラ??

『当事者意識』とは、物事に対して『自分が関係している』『自分の問題でもある』と自覚し、自ら『責任』を持って関わろうとする意識のことです。

🔍 『当事者意識』をわかりやすく言うと、①②のようになります！

- ① 『自分ごと・自分にも関わり合いがあること』として物事を捉える態度
- ② 『誰かがやるべき』ではなく、『自分にできることはなにか?』と考えて行動する気持ち



Students' Power of Agency and Resilience at Kirisho for our well-being!

『当事者意識』を高くすると

下のような力が身につくよ！

✦ 育成できる力

- ① 『主体性』
- ② 『エージェンシー（自ら考え、判断し、行動する力）』
- ③ 『自己効力感（自分にもできる、という感覚）』
- ④ 『責任感』
- ⑤ 『課題解決能力』

『当事者意識』 vs 『クレーム社会』

★ 『クレーム社会』の特徴★ 『だれかのせい』という考え方になりやすい！『自分にできること』を探すことなく、相手への『糾弾と要求』に向かいやすい！

◆ 『当事者意識』がもたらす社会的効用◆

- ・ 単なる不満ではなく、『どうすればよくなるか』を一緒に考え、行動する土壌が育つ！
- ・ 『誰かがやってくれる』から『自分も役割の一部や責任を負う』方向へと意識が変化する
- ・ 『批判』ではなく、『対話と理解を重ねて「よりよい状態」を一緒に模索』できる！
- ・ 『受け身』ではなく、『自ら関与し「責任」をもつ一員としての意識』が育つ！

『当事者意識の醸成』は、『問題とともに担い、乗り越える文化』づくりの基盤です。したがって、『クレーム社会』を乗り越える力ぎは、一人ひとりが『当事者』として『課題に向き合う姿勢』を育むことにあります。『だれかのせい』にして日々を嘆くより、『当事者』として関わることで、少しでも良いから『前よりよくなった』ことを讃えあう方が『ウェルビーイング（幸せ）』を感じやすいと思います！『日常に変革を与えられる人』のことを『Innovator（イノベーター）』と呼ぶ

のだと昨年群馬を訪れた OECD の方が言っていました！みなさんも『みんなに幸せをもたらす Innovator』を目指しませんか？ 校長 星野 亨

